

2019

2.8 fri - 13 wed

るぼ

作 アーサー・ミラー
翻訳 水谷八也
演出 宮田慶子

美術 長田佳代子
照明 中川隆一
音響 信澤祐介
衣裳 西原梨恵
歌唱指導 伊藤和美
舞台監督 川原清徳
演劇研修所長 宮田慶子
主催 文化庁、新国立劇場

新国立劇場演劇研修所第12期生修了公演
[るつぽ]

NEW NATIONAL THEATRE, DRAMA STUDIO
[The Crucible]

2016年入所の第12期生が8月の朗読劇『少年口伝隊一九四五』、10月の試演会『トミイのスカートからミシンがとびだした話』を経て、いよいよ新国立劇場演劇研修所での最終公演に臨みます。作品はアーサー・ミラー作『るつぽ』。17世紀末に実際に起きたセイレムの魔女裁判をもとに、1950年代当時のアメリカ国内のマッカーシズムを批判し、警鐘として描かれた作品です。1953年ニューヨークで初演され、トニー賞を受賞。新国立劇場では演劇研修所第3期生の試演会で、2012年には本公演でも上演されています。その2作の演出を手がけ、高く評価された演劇研修所長宮田慶子による再演出で、時代を超える骨太な作品に挑戦します。研修生活3年間の集大成となる12期生の修了公演にどうぞご期待ください。

ものがたり

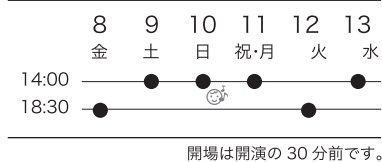
1692年、マサチューセッツ州、清教徒の町・セイレム。
 夜の森で、裸で踊る少女たちが目撃される。その一人アビゲイルが、かつて不倫関係にあった農夫プロクターの妻を呪い殺すための儀式だった。一人の少女が原因不明の昏睡状態に陥り、「魔女の仕業だ」という噂が駆け巡る。アビゲイルたちは自らのしたことを隠すため、無実の村人たちを次々に「魔女だ」と告発する。次第に聖女として扱われるようになったアビゲイルは、ついにプロクターの妻も「魔女」として告発する……。

新国立劇場演劇研修所 第12期生



[公演日程]

2019年**2月8日(金) - 13日(水)**



託児室〈キッズルーム『ドレミ』〉定員制

- 一般発売日から来場日の一週間前までに下記まで電話予約。
- ◆ 利用料金 3ヶ月~1歳 2,000円 / 2歳~12歳 1,000円
- ◆ ご予約・お問い合わせ (株) 明日香 (あすか) 個人事業部 0120-165-115 (土日祝を除く10-17時)

[チケット料金 (税込)]

A席 3,240円 B席 2,700円
学生券 1,000円 Z席 1,620円

※Z席は公演当日、ボックスオフィス窓口のみで販売。

- アトレ会員・各種割引はありません。
- 各発売日初日枚数制限はありません。
- 車いすをご利用のお客はボックスオフィスまでお問い合わせください。
- 就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。
- 学生券はボックスオフィス窓口・電話にて受け付けます。お引き取りの際には学生証または年齢を確認できるものが必要です。

アトレ会員先行発売期間 一般発売日
 2018年12月5日(水)~12月12日(水) 2018年12月14日(金)~

[チケット取り扱い]

新国立劇場ボックスオフィス
03-5352-9999
 (10:00~18:00)



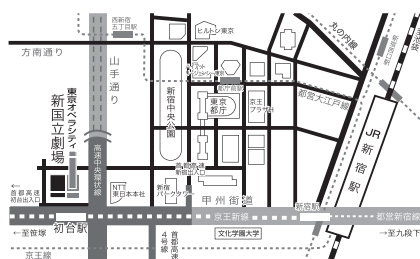
Webボックスオフィス
https://t.pia.jp/

チケットぴあ
0570-02-9999 (Pコード 490-852)
http://pia.jp/t/

NNTドラマスタジオ 研修所長 | 宮田慶子

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強度のある身体をそなえた次世代の演劇を担う舞台俳優を育成しています。3年間の研修期間では、俳優としての基礎的な訓練を行うと共に、年次を追って様々な演劇のメソッドや考え方を学んでいきます。その上で緻密なテキスト分析を元にしたシーンスタディを経て、3年次には舞台実習を行います。

<https://www.nntt.jac.go.jp/play/training/>
 ★演劇研修所 Facebook ページもチェック!!



新国立劇場
 NEW NATIONAL THEATRE TOKYO
 〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1
 TEL.03-5351-3011 (代)
 京王新線(都営新宿線乗入)初台駅中央口直結
 KEIO NEW LINE, HATSUDAI STATION